

東北学院大学

経営学部

経営学科

キャリア教養学科 (橘高校出身)

(※2022年度入学者から新カリキュラムとなります)

Q.編入を考えたのは、いつからでしたか？また、その理由を教えてください。

短大入学以前から編入を視野に入れていました。大学受験に失敗し、国立の4年制大学にいけなかったためです。

Q.編入までのプロセスを具体的に教えてください。ガイダンスはいつ、どのような内容ですか。

1年生は英語と小論文の学習を進めていました。英単語は毎日勉強するように努め、長文問題は授業とは別に、週に1題は取り組むようにしていました。

小論文は、別の志望校の試験科目にはなかったため、キャリアデザインでの授業の課題を行いました。2年生はそれらに加え経営学の学習を進めました。夏休み頃からは、英語の長文問題は少なくとも1日1題は触れるようにしていました。経営学は週末に内容をまとめて集中して勉強していました。

Q.実際の学習指導は、いつから、誰にどのような形で指導されましたか。

キャリアデザインの授業で、1年生後期からです。

Q.編入対策で努力したことは何ですか。具体的にどのような勉強をいつからしましたか。

前述の通りです。

Q.聖母の学びで力になったことはどんなことですか。

自分と向き合う力をもらいました。

Q.先生のアドバイスで役に立ったことはどんなことですか。

「専門科目（経営学）の問題は自分の知識がどれだけあるかということ表現する場である。面接は自分の長所や見解、情報をアピールする場である。入試はすべてを自己開示するための機会だから、自身を持つことが大切である。」というアドバイスをいただいたことです。

Q.①大学（短大）受験の時の気持ち・②短大入学時（学生生活）の気持ち・③編入試験前の気持ち・④合格した時の気持ちを教えてください。

①4年制大学の志望校に落ちて沈んでいた反面、ひと段落したことに安心。

②受験勉強が不安。

③きっと大丈夫（合格できなければ、今後どうすればいいのか）

④最低限進学できることが決まって、一安心。

Q.これから聖母短大に入学する、または聖母短大から編入を目指す後輩に伝えたいことは何ですか。

「君ならできるさ。自分は何がしたいのか、卒業後どんな自分を好きでいたいのか」それを考えさせてくれる場所が桜の聖母短期大学だと思います。自分と向き合って、自分の未来を決めてください。